

I 題材名

<授業の見どころ>

計画的な家庭生活をめざして
「生活を支えるお金と物」
(わたしたちの家庭科5・6 開隆堂)

子どもたちが、身に付けた力を活用し、情報を比較、整理しながら課題解決を行います。

II 題材の指導構想

1 題材について

- 子どもたちは、5年生になって始まった家庭科の学習で、家族の一員としてできることを増やしていきたいと考えている。しかし、新しい力を身に付ける活動は楽しく、意欲的に学習しているものの、実生活の中から問題を見だし、自分の生活をよりよくするための必要感をもった学習課題を設定したり、目指す姿(付けたい力)に向かって、実践したことや自分の考えを修正・改善したりすることは十分とは言えない。

題材にかかわって、子どもたちの買い物に関する経験や考えを調査したところ、

- ・ 一人で買い物(物選びから支払いまで)をしたことがない子どもが28人中4名いる。
- ・ 「いい買い物をした」と思う理由に、欲しいものが安く買えた、ずっとほしかったものを手に入れることができたと答える子どもが多く見られた。
- ・ 「買い物で失敗したこと」は、お金が足りなかったことが挙げられたが、失敗したことがないと答える子どもが半数以上見られた。
- ・ 「買い物で気を付けていること」では、不要な物を買わないこと、お金を計画的に使うことなど、自分なりの考えをもっている子どもが20人ほど見られた。

このことから、金銭の大切さについては理解しているが、環境に配慮した物選びや購入するために必要な情報の収集や整理の仕方についての理解は十分とは言えないことが分かった。

1学期に「整理・整とんで快適に」の学習で、無駄のない物の使い方をすることは環境によいことを3Rの視点で考えてきた。今後は、調理実習における食材選びや遠足のおやつ購入、修学旅行でお土産を購入するなど予算やニーズに応じて物を選んだり購入したりする経験をしていくこととなる。これらの学びの文脈を生かし、さらに「持続可能な社会の構築等」の視点を働かせて身近な物の選び方や買い方の工夫を考え、自分の生活の課題を解決していく力を身に付けていく必要がある。

- 本題材は、物や金銭の使い方と買い物について、課題をもって、物や金銭の大切さについて理解し、買い物の仕組みや消費の役割、物や金銭の計画的な使い方、身近な物の選び方、買い方、情報の収集・整理に関する基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、身近な物の選び方、買い方を工夫することができるようにすることをねらいとしている。

本題材を貫く学習課題は、「体にもお財布にも環境にもよい野菜を選ぼう」である。野菜サラダを作る際に購入する食材の産地、値段は様々で、食材を選ぶ観点は多岐にわたる。それゆえ、何をどのような基準で選ぶのか、子どもたちの意見は家庭環境や個々の知識、嗜好によって様々あると考えられる。そのような学びの文脈を生かし、次の題材で使用する食材を選ぶ計画を立てることは、付けたい力と照らし合わせて、適切な学習と言える。

- 指導にあたっては、次の二点について留意する。

一点目は、**学びの見通しを明確にした導入【手立て1】**についてである。子どもたちの家庭環境や経験、嗜好は多様であるが、「調理実習に使用する食材」を「体にも財布にも環境にも優しい」という視点で選ぶという共通した場面を設定することで、環境や経験に関わらず、学習で得た知識や班の友達の思考から課題を解決する方法を選ぶことができるようにする。

全校研究とのかかわり「えらぶ」「つかう」

二点目は、**成長を自覚する振り返り【手立て2】**についてである。本題材では、共通の課題について解決する際に各家庭で行った調査を活用する。それぞれの家庭の考え方や工夫を交流する時間を設け、考えを振り返り、修正したり評価したりできるようにする。また、単位時間や題材を通して、目指す姿(課題)に照らし合わせて振り返りを行うことで、成長を自覚しながら自分自身の学びの文脈をデザインできるようにする。**全校研究とのかかわり「つなぐ」**

2 学びの文脈に基づいた題材構想図

題材の目標 ～C 消費者生活・環境（１）物や金銭の使い方と買い物～

- 買い物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解する。
- 身近な物の選び方や買い方が分かり、購入するために必要な情報の収集・整理ができる。
- 身近な物の選び方や買い方の工夫を考え、自分の生活の課題を解決する。

題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 買い物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解している。 ・ 身近な物の選び方や買い方を理解しているとともに、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。	身近な物の選び方や買い方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買い物について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

復興教育との関連

- いきる「③夢や希望の大切さ」
物の選び方や買い方を理解し、適切にできるようになるために学習に粘り強く取り組むことは、目指す姿に向かうために必要であると気付く
- かかわる「①家族のきずな」
必要な物を購入する計画を立てたり、実践したりすることは、家族に感謝の気持ちをもちながら家族の生活をよりよくしていくことができると気付く

他教科・領域等

- 行事** 5年9月「全校遠足」6年「修学旅行」
学校以外でも適切に判断して、物を選んだりお金を計画的に使ったりする。
- 社会** 5年2学期「くらしを支える情報」
情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、情報を生かして発展する産業が果たす役割を考え、表現している。

資質・能力の高まり

教科の学習内容

5年7月
「整理・整とんで快適に」
・整理・整とんのよさや必要性を考える
・整理・整とんの仕方を理解し、持ち物や部屋を整理・整とんを工夫して適切に行う

本題材 5年9月
計画的な家庭生活をめざして
「生活を支えるお金と物」
～体にも財布にも環境にも優しい食材選び～
・物とお金が自分達の生活を支えていることを知る
・買い物に必要な情報を使って計画的な買い物の仕方を考える
・目的に合った物の選び方や買い方を工夫する

5年10月
楽しい家庭生活をめざして
「クッキングはじめての一步」
～体にも財布にも環境にも優しい野菜サラダ～
・調理のよさを考える
・調理の手順を知る
・ゆでる調理を使って料理を作る

6年2月
よりよい家庭生活をめざして
「持続可能な社会を生きる」
・生活と環境のつながりを考える
・物やエネルギーの使い方を考える
・環境の事を考えた生活を続ける

中学校
・金銭の管理と購入
・消費者の権利と責任
・消費生活・環境についての課題と実践

他教科・領域等

- 社会** 5年1学期「未来を支える食料生産」
食料生産にかかわる人々の、努力や工夫を理解している。
- 社会** 3年「地域にみられる生産や販売の仕事」
販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ工夫して行われていることを理解している。
- 道徳** 5年「もったいない」
環境保全の問題と自分との関わりを理解する。

見方・考え方を働かせるポイント

- 持続可能な社会の構築
 - ・ 金銭や物の大切さや使い方
 - ・ 買い物の仕組み
 - ・ 消費者としての役割
 - ※ 本当に必要か考える
 - ※ 最後まで使い切る など
 - ・ 環境に与える影響
- 健康・安全・快適
 - ※ 品物を選ぶ時の視点

願い

- ・ 欲しいものを安く手に入りたい。
- ・ お金を上手に使えるようになりたい。
- ・ 長く使える物を選びたい。
- ・ 安全な物を購入したい。

教科の力

- お金は大事な物で、大切に使いたいと考えている子どもが多い。
- 上手に買い物ができるようになりたいと考えている子どもが多い。
- 物を選んだり購入したりする際に、「安い」「欲しい」という視点でしか考えていない子どもが多く見られる。
- 自分の家庭の消費生活について関心が高い子どもは少ない。

子どもの実態

3 題材の指導計画及び評価の計画（全6時間）

小題	時間	○学習活動 働かせる見方・考え方	◆研究の手立て	評価規準〈評価方法〉		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
何にお金を使っているのだろうか よりよい買い物の仕方を考えよ	1	○ 毎日の生活で自分や家族が何にお金を使っているか振り返る。 ○ 収入と支出について気付いたことを出し合う。 ○ 学習を通して付けたい力を考える。 持続可能な社会の構築	手立て1 学習の見通し ◆学習の見通しをもち、目指す姿、個々の課題を設定するためのモデル提示 →【つなぐ】	①物や金銭の大切さについて理解している。〈発言・ノート〉 記録に残す評価	①物や金銭の使い方と買い物について問題を見いだして課題を設定している。〈発言・ノート〉	①物や金銭の使い方と買い物について、課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。〈発言・ノート〉
	2	○ 買い物の経験について話し合う。 ○ 失敗しない買い物の仕方、上手な買い物の仕方について考える。		②消費者の役割や物や金銭の計画的な使い方について理解している。〈発言・ノート〉 指導に生かす評価		②物や金銭の使い方と買い物について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。〈ノート・発言・行動観察〉
	3	○ 買い物の仕組みについて知る。 ○ よりよい買い物の仕方について話し合う。 持続可能な社会の構築		③現金以外のいろいろな買い物の仕方や買い物の仕組みについて理解している。〈ノート〉 記録に残す評価		
買い物の仕方を工夫しよう 5本時	4	○ 買い物の手順を知り、商品から情報を収集・整理する。 ○ 買物の手順についてまとめる。 環境に与える影響 健康・安全・快適	手立て1 学習の見通し ◆必要感をもって課題解決に向かって学び続けるための導入 ◆解決方法を選んだり使ったりするための掲示、ICTの活用 手立て2 振り返り ◆考えたことを伝えたり、見直したり伝えたりする場の設定 →【えらぶ・つかう】	④身近な物の選び方や買い方について理解している。 ⑤購入するために必要な情報の収集・整理を理解していると同時に、適切にできる。〈行動観察・ノート〉 記録と指導に生かす評価		③物や金銭の使い方と買い物について工夫し、実践しようとしている。〈発言・ノート〉
	5	○ 食材の購入計画を立てる。 ○ 食材を選ぶときの視点を考える。 ○ 班で交流し、考えを修正する。 持続可能な社会の構築		記録に残す評価	②身近な物の選び方や買い方について買い物計画を考え、工夫している。〈計画表・ノート〉	
	6	○ これまでの学習を振り返る。 ○ 家庭生活での実践計画を立てる。 持続可能な社会の構築	手立て2 振り返り ◆題材の導入で設定した目指す姿と比較して成長を実感する。 ◆実生活につながる新たな課題を設定する。 →【つなぐ】	記録に残す評価	③身近な物の選び方や買い方について、実践を評価したり、改善したりしている。〈ノート〉 ④身近な物の選び方や買い方についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	

Ⅲ 本時の指導

1 目標

- 食材の選び方や買い方について、購入に必要な情報を収集・整理して、買い物計画を考え、工夫することができる。

2 評価規準

- ・ 食材の選び方、買い方について、買い物計画を考え、工夫している。【思考・判断・表現】

＜努力を要する状況の児童への手立て＞

教師のモデルを見たり、これまでの学習を振り返ったりしながら、参考にしたい部分について友達や教師に聞いて食材の選び方・買い方を確かめることができるようにする。

3 展開 (5/6時間)

段階	学習活動 ○発問	時間	◆研究にかかわる手立て 予想される子どもの反応	・留意点 【評価】
導入	1 問題把握 ・教師の提示した例示について話し合う。 ○ どのような観点で食材を選んだのでしょうか？ ○ その選び方をどう思いますか？ ○ みなさんならどの食材を選びますか？ 2 課題設定 「体とお財布と環境によい食材」選びにはどのようなものがあるのだろう。	5 2	手立て1 学習の見通し ◆教師が示した例示と「体とお財布と環境に優しい」というキーワードのもと、どの食材を選ぶか、身に付けた力を使って自分も選びたい！という思いをもたせる。 →【つなぐ】	・始めからグループや家族を意識させすぎず、自分なりの考えをもたせるところからスタートする。
展開	3 課題の解決 ① 情報の収集・整理・選択を行う ○ どんなことを知りたいですか。 ・ 値段 ・ 分量 ・ 品質 ・ 産地 ・ 食べる人数 など ② 買物の計画を立てる ③ 選んだ食材の交流を行う ○ どうしてその食材を選んだのか、理由も付けて交流しましょう。 ・ 岩手県産を中心に選びました。安心な食材を食べたいからです。 ・ たくさん食べたいから安くても量のあるものを選びました。等 4 視点を変えて選び方を見直す ① 条件を付け加えて、考えの見直しを行う。 ・ 班の友達と野菜サラダを作る ・ 一人分の分量は同じだけれど、多少のアレンジはOK ・ 予算も同じ ② グループで食材を決定する ・ 買い物のテーマと理由 5 選び直した食材の交流を行う ・ にんじんが得意でない人が多いので、少ないものを選び、その代わりにキャベツを多めのものにしました。 ・ 余ることがないように、どれも分量通りに選びました。 ○ どのようなことに気を付けて「体とお財布と環境によい食材」選びを行いましたか。	3 8 10 5	とにかく安く済ませたいけど、品質はどうだろう？ 岩手県産を食べたいけれど、値段が心配だな？食べきれぬかな？ 手立て2 振り返り ◆考えたことを伝えたり、見直したりする場の設定 →【えらぶ・つかう】 4人分なら、食材が余りそうだな。半分の量の物を選ぶ。 好き嫌いがあるから食材のバランスを変えてみよう。 手立て2 振り返り ◆1回目の考えを取り入れながら考えたことを伝えたり、見直したりする場の設定 →【つなぐ・えらぶ】 友達の好みや使い切れる量か考えたな。 予算にも気を付けたな。	・前時で学習した情報の収集・整理を確認しながら行う。 思判表 【計画の工夫】 〈ノート・発言〉 食材の選び方、買い方について、買物計画を考え、工夫している。 ・既習の考えを使って計画を立てている子どもの考えを全体に広げる。 ・修正する際は青ペンで記入する。 ・より家庭の状況に近づくために、2回目は、グループで量や値段の制限を考慮しながら考える。
終末	8 振り返り ・学習前、学習後、今後について振り返りを行う 【振り返りの表現例】 「選んでいた食材は他にあったけれど、 <u>予算や食べる人数に合わせて選ぶことも必要だ</u> ということが分かった。 <u>うちは家族が多いし、分量に気を付けたいし、健康も考えて産地にも気を付けて選びたい。</u> 」	4	手立て2 振り返り ◆自分の成長や、学びを認識し、次の活動に向けた目標ができるように、3つの段落で振り返りを行う。	

